

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」キックオフ大会

平成 29 年 2 月 20 日(月) 三重県庁講堂



1 概要

県では、県民・事業者・市町等の皆さんと力を合わせて防犯・交通安全を推進する、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」を、平成 29 年 1 月 13 日付けで策定しました。

このたび、同プログラムの策定を広くPRし、県民の皆さん等さまざまな主体の「アクション」を促進することを目的に、「キックオフ大会」を開催しました。

当日は、日頃から地域の防犯・交通安全のために活動いただいている県民の皆さんや市町担当者など、あわせて約 150 名の方にご参加いただき、「県民力でめざす 犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」への出発を飾るイベントとなりました。

2 開催結果

キックオフ大会の内容は、以下のとおりでした。

～第 1 部:「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」、スタート!～



(1)主催者あいさつ(鈴木知事)

(1)主催者あいさつ [14:00-14:05]

鈴木英敬知事から、「G7伊勢志摩サミットが無事かつ成功裏に閉幕した背景には、全国から集結した警察力はもとより、県民の皆さんによる地域での活躍があった。今回策定したアクションプログラムは、県が何かをするということよりも、県民・事業者の皆さん等のアクションにより、地域の安全安心を確保しようとするものであり、皆さんのお力添えをいただきたい」旨のあいさつがありました。

(2)来賓祝辞 [14:05-14:10]

上野達彦氏(「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」会長、放送大学三重学習センター所長)から、「平成16年に『犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例』が制定されたことを契機に高まった、『自分たちのまちは、自分たちで守る』という気運を、今回のアクションプログラムを生かして一層高めていきましょう」という旨のご祝辞をいただきました。

(3)「安全で安心な三重のまちづくりアクション

プログラム」について<説明>[14:10-14:30]

環境生活部くらし・交通安全課の担当者から、アクションプログラム策定の背景や基本方針等について、また、アクションプログラムの具現化のために県として来年度に行う新規事業について、説明しました。

(4)講演 [14:30-15:00]

セコム三重株式会社 代表取締役社長 前田良一氏から、「一人ひとりの防犯対策で実現できる「安全・安心」な地域づくり ～豊かな生活を脅かす犯罪・災害から自分とわが家を守る～」と題し、講演をいただきました。

県民一人ひとりの意識づくりから始まる安全・安心について、防犯・防災の観点から、具体的な事例の紹介と提言をいただきました。



(2)来賓祝辞(上野氏)



(4)セコム三重(株)前田氏による講演



(5)警察音楽隊による寸劇



(6)大会宣言

～第2部:安全で安心な三重のまちづくり県民運動、
出発!～

(5)三重県警察音楽隊の皆さんによるパフォーマンス
[15:20-15:50]

親しみのある曲目の演奏にあわせ、「オレオレ詐欺」
等の特殊詐欺被害防止を啓発する寸劇が披露されまし
た。

(6)大会宣言 [15:50-16:00]

環境生活部くらし・交通安全課長が、「さまざまな主体
が、自分にできるアクションを自ら起こすとともに、力を
合わせて協創し、『県民力でつくる 犯罪や交通事故の
ない、安全で安心な三重』をめざす、オール三重の県民
運動へと出発する」旨の大会宣言を読み上げました。

その後、会場の皆さん全員で「安全で安心な三重の
まちづくり、出発」と声を合わせ、閉会となりました。

※駐車場で実施予定であった「安全安心まちづくり出発
式」は、雨天のため取り止めました。

なお、会場内では、セコム三重株式会社、NPO法人
三重県防犯設備協会、一般財団法人三重県交通安全
協会、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター
の提供による、防犯・交通安全・犯罪被害者等支援の
意識づくりにつながる展示を行いました。

3 まとめ

今回のキックオフ大会は、アクションプログラムの基軸
である、「県民・事業者・市町・県等さまざまな主体による
協創」を象徴する催しとなりました。

今後、県内全域において、市町と連携しながら県民・事
業者の皆さん等にPRし、アクションを呼びかけることによ
り、アクションプログラムを推進します。さらに、先進的なア
クションの事例等を収集し他地域に展開することで、アク
ションプログラムを進化させていきます。



会場内での展示の様子